

授業科目

看護実践論

担当教員名 看護学科教員全員	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

これまでに修得してきた知識と技術を統合し、安全で確実な看護を実践する能力を修得するために、医療機器の管理や自己の課題に合わせた看護技術を学ぶ。これらをととして自己の看護実践における課題を考察する。

授業の目的

これまでに修得した看護学の知識・技術を統合し、安全で確実な看護を実践する能力を養う。

学習目標

1. 状況をアセスメントして必要な看護を行う上での方法・注意点が挙げられる。
2. 自己の看護学の習得状況を踏まえ、安全で確実な看護技術を実践できる。
3. これまでの看護学の習得状況を振り返り、自己の看護実践における課題を考察する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス・課題提示	講義	
2	課題学習	講義・演習	看護学科教員全員 他
3	課題学習	講義・演習	看護学科教員全員 他
4	看護技術実践（吸引）	講義・演習	看護学科教員全員 他
5	看護技術実践（輸液ポンプ・寝衣交換）	講義・演習	看護学科教員全員 他
6	看護技術実践（シミュレーション採血）	講義・演習	看護学科教員全員 他
7	看護技術実践（採血）	講義・演習	看護学科教員全員 他
8	まとめ	講義	看護学科教員全員 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	適宜配布					

評価方法

学習態度 20%
成果物 80%

履修上の留意点

4年間を通して学んだ看護学を統合して安全・確実に実践できるように、各自が真摯に取り組んで欲しい。

オフィスアワー・連絡先

授業の初回時に提示します。